



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 19 号

令和 7 年 3 月 24 日発行

文責 校長 多久島 一仁

6年生と中学3年生が卒業しました

3月7日（金）に2年ぶりとなる卒業式がありました。今年度の卒業生は6年生1名と中学3年生1名でした。2月27日（木）には卒業生を送る会を開き、卒業生の似顔絵を貼り絵で作る活動をしたり、先生たちでいきものがかりの「ありがとう」を合唱と合奏で演奏したりして卒業を祝いました。

卒業式では、答辞で6年生が児童生徒一人一人や担任の先生やご両親に感謝の気持ちなどを述べ、中学3年生は島留学で過ごした一年間を振り返り、感じた思いや様々な方々への感謝の気持ちなどを述べました。

6年生は加唐中学校へ、中学3年生は高校へそれぞれ進学します。これまで加唐小中学校で培った力を次のステージでも発揮し、さらに大きく成長してほしいと思います。



大変お世話になりました

今年度も今日で最後となりました。これまで保護者の皆様や地域の皆様に支えられて充実した教育活動ができ、児童生徒も職員も大きな怪我や病気、事故等もなく、無事に過ごせたのが何よりです。

今年度は完全に新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり、全ての活動を以前のよ

うに実施することができました。育友会歓送迎会に島民体育大会、武寧王生誕祭、育友会研修視察など初めての行事でしたが、どれも内容の濃い、そして皆さんと親睦を深められたものばかりでした。

私が過ごした3年間はこれまで経験したことのなかった3年間でした。台風による12時間の停電は、電気のありがたさを知ることができました。テレビも見ることができず、インターネットにも接続できず、懐中電灯の明かりだけが頼りでした。情報が入らないことがどれだけ不安なのかということを知りました。また、2ヶ月以上お湯が出なくなったため、風呂も水のシャワーを浴びていました。冬が来る前に修理をしてもらったので助かりましたが、そうした不便さも経験しました。

しかし、そうした不便さも、学校に来ると、元気でかわいい子どもたちがいて、いつも私は元気をもらっていました。2年目に中学校が休校となり、一人教頭となりましたが、そのおかげで小学生の国語と理科と英語活動の授業をすることができました。複式学級で2、3年生、4、5年生がそれぞれ同じ教室で授業をするということもやりました。前の黒板と後ろの黒板を行ったり来たりしながら楽しく授業をしました。

そして、加唐島、松島の方々との交流は子どもたちとの交流に勝るとも劣らないくらい楽しいものでした。島内草払いや育友会除草作業などの労働やその後の会は忘れられない思い出です。

「出会いは人生を豊かにし、別れは人生を深くする」という言葉があります。私は加唐小中学校に来て、児童生徒や島民の方々と出会い、間違いなく豊かな人生を経験しました。毎日が観光旅行のような美しい景色、島から陸のことを考えるという発想の転換、すべてが当たり前ではない有難さ、常に自然とともにある生活、そして人の温かさ……。ですが、今回の別れで私もまた一つ成長し、深みが増すのだと思います。

今年度転出、退職する職員を代表して保護者の皆様、加唐島・松島の島民の皆様に深く感謝申し上げます。これからもどうぞ皆様お元気でお過ごしください。

【令和6年度末転出及び退職者】

氏 名	役職等	異動先等

